

頭陀袋（2）

発行 中山かんのん

恩林寺

中山中学下、電話三四一一二四五

おしようさんと

ともだち

おでら
正に行こう。



予言 * 預言 * 記別 * 授記

私たち生き物はすべて未来や将来の事柄をあらかじめ予見、予知する能力が備わっています。明日の天気や次に起きそうなことなど常識的な範囲のことを予知するならば別に驚きませんね。でも人の死を予見したり、地震、災害を予知する能力があるとしたらすごい能力があると驚きませんか？

普通人では推測できない将来の出来事を予見、予知し、それらが起きないうちに人に語ることを予言（預言）といいます。今はいろいろな機械を酷使して災害などを予見、予知し、予報として警戒を促す時代になりましたが、昔は人の予言（預言）に頼つたようです。予言者と預言者はほとんど同じ意味で仏教ではあまり用語の区別をしておりませんがユダヤ教、キリスト教、イスラム教では「神からの啓示」を予言者とし、ノストラダムのような予言者と区別をしております。仏教では予言者自体、あまり問題にしておりません。予言などは仏教では必要ない。といつても過言ではありません。しかし佛様にも予言はありました。ワカナラというインド語を訳すると記別、授記、となりますがこれは「あなたは未來世において、○○佛になるであろう。」と弟子に与えた仏の